

和歌山市教育委員会に「SASTIK」導入、県庁所在地でも広がる活用

～SASTIK でプライベートクラウドを活用、安全な仕事環境～

株式会社サスライト（東京都港区 代表取締役 植松真司：以下サスライト）は、学校現場での情報漏洩事故のリスクを低減するセキュリティシステム「SASTIK III Thin-Client Layer アカデミック版（以下：SASTIK）」を和歌山県和歌山市教育委員会に導入しました、

SASTIK は専用のUSB キーを用いて、サーバへと認証、WEB サーバやファイルサーバへの安全アクセスを可能にするソリューションです。和歌山市ではSASTIK を用いて、重要データをサーバで一元管理するプライベートクラウド環境をよりセキュアにすることで活用の幅を広げ、自宅での安全な仕事環境を実現しました。

導入製品：SASTIK III Thin-Client Layer アカデミック版

導入対象：和歌山市内の小中学校教職員

【情報紛失・漏洩対策への抜本的解決】

これまで多くの学校現場で暗号化USB メモリなどをはじめとして様々なセキュリティソリューションが用いてこられました。しかし、例えば暗号化USB メモリを用いた場合でも、USB メモリ自体を紛失してしまうと、データの紛失は避けられず、パスワードを破られて情報が漏洩してしまったかどうかを確認する術がないのが実情でした。SASTIK では持ち歩くのはデータではなくサーバにアクセスするための鍵となるメモリの無いUSB キーのみです。このため、紛失してもそもそもUSB キー自体に情報が入っていない上に、パスワードで守られる基本的なセキュリティに加え、パスワードを数回間違えるとアカウントロックする機能や、紛失したキーからの接続をサーバ側の設定で停止する機能などを実現でき、情報の紛失・漏洩のリスクを排除します。さらに、紛失時点からサーバへの接続を停止するまでの間、どのようなアクセスがあったかをログにて確認できるため、情報漏えいのなかったことを客観的に証明することができます。

【プライベートクラウドを有効活用】

SASTIK はWEB アプリケーションとファイルサーバへの安全接続を実現できるソリューションです。サーバの管理を外部委託し、プライベートクラウドを構築する自治体が増加する中、学校での利用と自宅での利用でセキュリティレベルを変更する必要がある場合、また、重要データを一箇所に集約するにあたって、確実な個人認証が必要となる際等に、SASTIK は力を発揮します。和歌山市教育委員会においても、集約化されたサーバセンターへのUSB キーによる強固な認証と、クライアント側にデータを残さない仮想シンクライアント機能を活用いただき、自宅での安全便利な仕事環境を実現しました。

【バージョンアップにも簡単対応】

SASTIK はUSB キーとサーバソフトが連動して稼動するシステムですが、USB キーには鍵情報と認証機能のみ有しており、その他の仮想シンクライアント機能、暗号化通信機能、ユーザ管理機能等はすべてサーバ側で保持しております。そのため、バージョンアップの際にも一々キーを回収する必要もなく、一元的な管理・設定で対応可能なソリューションとなっております。

※「着脱式デバイス及びプログラムの起動方法」（日本特許第3767818号：2006. 2. 10登録）（米国特許US7, 606, 946 B2：2009. 10. 20登録）、（中国特許ZL200380102207. X：2009. 07. 15登録）

■プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社サスライト(<http://www.saslite.com>) 社長室 上田

Tel : 03-5575-2211 eメール : pr-sas@saslite.com